

大規模災害に備えましょう



あいち防災キャラクター
防災ナマズン

知っていますか？地震のこと

- 駿河湾から足摺岬の沖合に広がる南海トラフでは、過去に100～150年の周期でM8.0～8.7規模の地震が繰り返し起きています。
- 平成27年1月1日時点で、東海・東南海・南海地震の30年以内の発生率は70%程度でした。
マグニチュードは8～9クラスを想定（東北地方太平洋沖地震はM9.0）
- 1923年の関東大震災では火災被害、1995年の阪神・淡路大震災では家屋や家財の倒壊、先の東日本大震災では津波被害が大きかったことが特徴でした。南海トラフ大震災では、それら全ての被害が予測されており、それぞれ状況に応じた防災対策が必要となります。

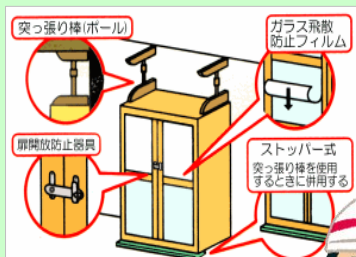
【参考】半田保健所管内の想定

	最大震度	最大津波高
半田市	6強	3.6m
阿久比町	6強	—
東浦町	6強	2.9m
南知多町	7	4.9m
美浜町	7	3.9m
武豊町	6強	3.4m

<平成23年度～25年度愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果より>

1 家族と自宅を守ろう

- 非常持ち出し品の準備
(裏面にチェックリストがあります。)
- 自宅の耐震診断と改修
(昭和56年6月以前の木造住宅は無償耐震診断を受けられます。市町耐震担当窓口にお尋ね下さい。)
- 家具類の転倒・落下・移動防止
 - 家具の固定（重いものは下に収納）
 - 窓ガラスの飛散防止
 - 出入り口を塞がない家具の配置
 - 移動式のものにはストッパーを。



2 避難について考えよう

- 自分の地域の災害想定を確認
(防災マップを確認しよう。)
- 避難場所や避難所の経路を確認
(移動手段も確認しよう。)
- 家族の連絡方法を
確認（災害用伝言ダイヤルを活用しよう。)



自分の安全は自分で守る！



身近でできる防災対策！

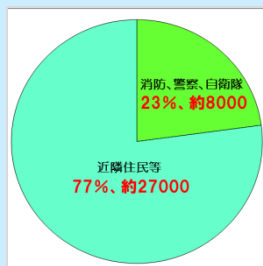
3 障害を抱えた方の対策

- 緊急医療手帳の準備
(裏面に半田保健所が作成したものがありません。)
- 予備薬剤や医療品の確保
(備品の収納場所も確認しよう。)
- (必要時)発電機やバッテリーの確保
(人工呼吸器等を装着している方は、中部電力半田営業所にも連絡しておきましょう。)
- 支援者との連絡方法の確認
かかりつけ医、専門医、訪問看護師、ケアマネージャー、医療機器メーカー担当者など



ガスボンベ式の発電機→

4 周囲の人たちとの連携



阪神・淡路大震災では、**7割以上の人**が“**近隣住民**”による救助で救出されています。
(河田恵昭(1997)大規模地震災害による人的被害の予測、自然科学16-1)

- 民生委員や防災委員への情報提供
- 日常的に支援者を確保
- 行政などへの情報提供
- 各地域の避難訓練への参加
(平時から外に出る訓練をしましょう。)

●非常持ち出し品を準備しましょう。(定期的な確認・更新も必要です。)

- 一度に全てのものは持ち出せません。持ち出し品に優先順位をつけましょう。
- 持ち出し品はすぐに持ち出せるよう家族皆が分かるところにまとめて、一か所に置いておきましょう。

非常時持ち出し品リスト

- ティッシュ
- タオル
- ポンチョ
- 除菌シート
- マスク
- 携帯電話の充電器
- 印鑑
- 現金
(停電時に公衆電話で使用する
10円、100円硬貨含む)
- 止血するもの
- 懐中電灯
- ライター
- ナイフ
- 下着
- 手袋
- ラジオ
- 食品
- ヘルメット
- 電池
- 水
- 健康保険証書コピー
- めがね
- コンタクト用品
- 生理用品



乳幼児

- 離乳食
- 粉ミルク
- 加熱調理器具
- 消毒用品
- 紙おむつ
- おしりふき



高齢者

- 入れ歯
- 介護食
- 大人用紙おむつ

疾患のある方

- 主治医連絡先
- 持病薬メモ(処方箋等)
- 持病の薬

ペット

- 動物病院連絡先
- リード
- ケージ
- ペット用食品
- 排泄用品



備蓄品リスト

- ウォータータンク
- カセットコンロ
- カセットガス
- 調理用水
- 生活用水
- 飲料水(1人1日3リットル)
- 食料(アルファ化米、缶詰、レトルト食品、お菓子、栄養補助食品等)
- 缶切り
- 毛布
- 衣類
- ろうそく
- 簡易トイレ
- 歯磨きシート
- ウェットタオル
- 抗菌・消臭剤
- 救急セット
- 掃除用具(ほうき、ちりとり)



その他

- ()
- ()
- ()



●緊急医療手帳のご案内

- 災害時・緊急時に備えるために活用して下さい。
- 緊急時に、救急隊や避難所等にいる医療者が見れば、その人の状態が分かり、効率よく対応ができるように情報を整理します。
- 情報に変更があれば、その都度変更しましょう。

緊急医療手帳

災害時(緊急時)のお願い
すぐに読んでください。

私は、日常的に継続して医療を受ける必要があります。
私が倒れている場合は、最寄りの医療機関に運んでください。

記入日 年 月 日

住所
氏名

手帳が必要な方は、健康支援課窓口までお越しください。

●避難行動要支援者制度のご案内

この制度は、災害時にご自身で避難することが困難な方を対象に、各市町の名簿に登録し、平時から関係機関と情報共有し対策を図る制度です。
対象者は各市町によって異なるため、お住まいの市町窓口にご相談ください。

窓口		連絡先
半田市	地域福祉課	0569-84-0641
阿久比町	防災交通課	0569-48-1111(内線208)
東浦町	福祉課	0562-83-3111
南知多町	福祉課	0569-65-0711(内線121,123)
美浜町	防災安全課	0569-82-1111(内線207)
武豊町	福祉課	0569-72-1111

●家庭訪問・面接相談・電話相談

保健所では、皆様がより良い療養生活を送れるように、病気に関する悩みごと、家庭での療養生活などについて、保健師が家庭訪問及び健康相談を行っています。
また、必要に応じて歯科衛生士や管理栄養士も相談に応じますので、気軽にお声かけください。

愛知県半田保健所 健康支援課地域保健グループ 電話(0569)21-3354(直通)